

令和3年3月26日

島田市議会議長 村田 千鶴子 様

議会だより編集等に関する
特別委員会
委員長 河村 晴 夫

議会だより編集等に関する調査・研究について（中間報告）

本委員会は、調査した事件の結果について、委員会条例第36条の規定により別添のとおり報告いたします。

記

- 1 調査事件 議会だよりの編集及び広報広聴に関する調査・研究
- 2 調査結果 別添報告書のとおり

「議会だより編集等に関する特別委員会」中間報告書

令和2年6月定例会において、委員7人による「議会だより編集等に関する特別委員会」を設置し、積極的に議会活動について情報発信するとともに、議会だよりのさらなる充実について継続して調査・研究に取り組みつつ、議会だよりの編集・発行を行った。また、令和元年度に設置した「若者のまちづくり参画等に関する特別委員会」において調査・研究を行った、高校生との意見交換会の具体的な開催や議会報告会などを含めた議会が行う広報広聴活動について調査・研究を行った。

1 経過

- 令和2年6月29日 正副委員長の互選
- 令和2年7月9日 議会だより第75号（6月定例会号）の編集について
- 令和2年7月22日 今後の議会だより編集等に関する特別委員会の進め方について、議会だより第75号（6月定例会号）の編集について
- 令和2年9月9日 議会だより第76号（9月定例会号）の編集について、広報広聴に関する取組について
- 令和2年10月2日 議会だより第76号（9月定例会号）の編集について
- 令和2年10月19日 議会だより第76号（9月定例会号）の編集について、市内高等学校の校長等との意見交換について
- 令和2年11月30日 議会だより第77号（11月定例会号）の編集について、市内高等学校への訪問結果報告について
- 令和2年12月25日 議会だより第77号（11月定例会号）の編集について、議会報告会の在り方について、高校生のまちづくり参画について
- 令和3年1月18日 議会だより第77号（11月定例会号）の編集について、議会報告会の在り方について、高校生のまちづくり参画について
- 令和3年2月16日 議会報告会の在り方について、高校生のまちづくり参画について
- 令和3年3月8日 議会だより第78号（2月定例会号）の編集について、中間報告について

2 調査の報告

(1) 議会だよりの編集について

本特別委員会は、紙面リニューアルした議会だより第52号（11月定例会号）から継続して、市民に読みやすく、わかりやすく、親しみやすい議会だよりの紙面づくりのため、以下のアからエまでの事項を検討しながら、編集作業と発行を行った。

ア 余白を活用した「読みやすく、わかりやすい」レイアウトとするた

- め、最適な文字数とし、写真の大きさ等を工夫すること。
- イ 「親しみやすい」議会だよりとするために、表紙とそれに続く見開きページを連動させ「手に取ってみたいくなる」特集記事を掲載すること。
- ウ 表紙と特集の題材を工夫し、多くの市民が「手に取ってみたいくなる」ように、さまざまなターゲットを想定すること。
- エ ページごとにデザインに凝るのではなく、最初から最後まで統一感があるトータル・デザインを施し、字体を全体的に統一して「読みやすく、わかりやすい」ものとする。

発行について

号数	内容	発行日	発行部数
7 4	臨時号	令和2年7月15日	34,600
7 5	6月定例会号	令和2年8月12日	34,600
7 6	9月定例会号	令和2年11月13日	34,600
7 7	11月定例会号	令和3年2月15日	34,600
7 8	2月定例会号	令和3年5月14日（予定）	34,600 （予定）

(2) 高校生のまちづくり参画について

昨年度の「若者のまちづくり参画等に関する特別委員会」の活動内容について話し合い、当委員会の委員をリーダーとして、再度、全議員が市内の高等学校を担当校別に訪問し、具体的な意見交換等の実施に係るヒアリングを行った。（10月21日島田高等学校、10月23日島田樟誠高等学校、10月30日金谷高等学校及び島田商業高等学校、11月4日島田工業高等学校）

議会側としては、選挙年齢の18歳への引き下げを踏まえ、次世代を担う高校生が議会や島田市の現状をどのように考え、今後どうなってほしいかなど、意見を市政に反映できる場を設けていきたい趣旨を説明した。

近年、高校生の行政への参画として、平成30年には市内5校の高校生が市内の様々な職場を見学し、また、令和元年度から開始したICT起業家育成プログラムに、島田商業高等学校と島田工業高等学校の1、2年生約50人が参加するなど、積極的な活動が行われてきた。また、令和3年の成人式には島田工業高等学校情報技術科の生徒によるオンライン配信や、島田樟誠高等学校では授業の一環として「島田の魅力を紹介するオリジナル絵本」を制作し、園児や小学生に読み聞かせを行った。

そのため、学校側としては既に行政への参画は十分実施できているものと考えている、また、コロナ禍により学校行事に大きな影響があり意見交換会等を実施する時間がないとの意見があった。一方で、授業の一環として学校の特色を生かした活動ができればとの前向きな意見もあった。

こうした前向きな意見を捉え、今後の活動として議員との意見交換会を開催し、高校生が考えた意見を市政に反映する場を授業の一環として設けることや、学校の特色を発揮できる分野で市政への参画を次年度からできるように、各高等学校への働きかけを切望する。

(3) 議会報告会について

議会報告会の流れは従来通りの開催方法で問題ないと判断するが、今後の開催について以下のとおりとすることを提案する。

ア 議会報告会で得られた意見及び情報等の取り扱いについては、現在のフローで対応でき、政策課題として取り上げるかどうかの判断も各会場の出席議員で判断する方法が良いと考える。

イ 議会報告会の開催地域について、以前は島田地区、金谷地区及び川根地区において、それぞれ年2回以上開催するものと定められていたが、平成29年に改正され、現在は、地区の区分がなくなり年2回以上開催となっている。開催地域について規定はないが、現在も島田地区、金谷地区及び川根地区での開催が継続している。当特別委員会は、現在の開催方法では地域の問題を取り上げきれていないと判断した。島田市ではまちづくりの方向性として、市内を6地区（旧市内・大津、川根、金谷、六合、初倉、伊久身・大長）に区分し、地域の将来像、都市づくりを進めており、議会報告会も同様に6地区で開催することが望ましいと考える。

ウ 各種団体との意見交換会の開催については、当特別委員会が窓口となり調整することも可能と考える。

以上